

再び、ヒマラヤサクラを追って、 秋のさくら旅(2023)

ヒマラヤから戻って、改めて11月のカレンダーを見ると、11/30日に太く丸印と「新宿住友ビル」と記されていた。

メール履歴より藤井君より「同期会へのお誘いと出欠の返信要請」があり、「出席する」との返信をしていた。

詳しく見ると、集合日時が11/30 **AM11:30**となっていた・・

当日(11/30)早朝に出発するのは厳しい・(多分、**今回が最後の参加となるであろう・・**)と思った。

そこで、三泊四日の余裕のあるスケジュールを組んで、この機を利用して「富士山遠望、**熱海のヒマラヤ桜**と群馬・鬼石の桜山公園の冬桜」を回遊して見ようと企んだ。

取り敢えず、宿を(富士三島、熊谷、高崎の駅近に)押さえて置いた。

行程と概要

11/29

- ・新大阪----三島---熱海====熱海高校前---吉原====岳南江尾---三島。
 - ・新幹線の車窓より富士山を遠望(新富士駅辺りから)
 - ・熱海駅より(**タクシー利用**)して、熱海高校周りの「ヒマラヤサクラ」を探し周り、やっと探し当てて感激した。
 - ・熱海から東海道線を吉原駅に戻り、吉原====**岳南電車(往復乗車)**各駅の車窓から夕焼けの富士山を遠望、(**朝夕拝した**ことになる)。(山は富士、**富士はやっぱり日本一**)・・と思った。
 - ・夕食は三島の「うなぎの不二美」を尋ねるが、本日休業、(春の伊豆半島周遊の終わりに此処を訪れ、女将に「生きとれば又、寄せて貰います・・」と約束していたのに・・?? 残念

11/30

- ・三島駅==品川---新宿---都庁前・・住友ビル47階(住友クラブ)11:15着。
 - ・時間があつたので、都庁の展望階に登り都内を遠望(西方にかすかに**富士山**を発見、感激)
 - ・同期会には12名が集まり、私と深田君は遠方組に入った
 - ・近況報告を聞く(皆さんそれぞれ歳老いて、似ていると?・・)と実感。
 - ・私は今回が最後と思い「**御礼とお別れの辞**」をのべた。
 - ・解散後は去年と同様、中村君と新宿駅まで歩き、中央線で東京駅へ出てそこで別れた、私は、新幹線で熊谷に向かった・・

12/01

- ・熊谷---本庄---鬼石郵便局前=(往復タクシー利用)=桜山公園(第一駐車場)。
- ・桜山「冬サクラ祭り」に参加(12/01=毎年恒例)
 - 此処には春(2007/4)にも来ていた(日本桜100選の一つゆえ)
 - 寒桜の一種で(小葉桜とも言われる・樹木は小柄、
 - 花卉小さく、色は白っぽい薄紅、二度咲く)
 - (桜の権威として知られる農工大の染郷博士によると・・・
 - ヒマラヤサクラとも異なる様である。)
- ・桜山公園を一周と山頂(591m)の桜山神社に拝した・・・
- ・茶店(やまぶき)にて、名物うどんを食し、タクシーを呼んで貰った。
- ・鬼石郵便局前--本庄---JR 高崎駅—東横 INN 着(16:00 頃)

12/02

- ・高崎--前橋--桐生--伊勢崎--足利--佐野--小山 (両毛線踏破)
 - ・前橋にて途中下車・赤城山神社(ビジターセンター迄を往復=¥3400)
 - (富士見温泉から上州三山(赤城、榛名、妙義)の位置と地形を確認
 - 唯、西方に富士は望めず・・・又足利にも下車、国宝「足利学校」を
 - 拝した
- ・小山 大宮 東京 新大阪===== (東北/東海道新幹線乗継)

=====
終わってみると

今回も、主目的の(同期会)を挟んだ・「桜と山と・鉄路」の旅であった。

ちなみに

- ・サクラ・・・熱海のヒマラヤサクラ、鬼石の冬サクラ。
- ・山は・・・富士山(遠望)、鬼石の桜山登山、赤城山(ビジターセンター迄)。
- ・鉄道は・・・岳南電車、両毛線。

・・・「富士はやっぱり日本一」である・・・とつくづく感じた!!

追伸:同期会へは、今回が最後になるだろうと・・・思った・・・

以上
